

'95全国盲導犬普及キャンペーン

デュエット

Duet

1995.4
第4号

GUIDE DOG MAGAZINE

全国盲導犬
施設連合会
発足。

盲導犬がいる街、やさしい街。



広告



もっと、盲導犬を。
盲導犬を一頭でも多く育てるために、
皆様のお力が必要です。

「ペディグリー チム」盲導犬育成キャンペーンは今年で3年目を迎え、今年も6月に135人の賛同を集めておこなわれ、134名が、日本全国に目を不自由で盲導犬を必要としている方には、約20,000人、盲導犬は、わずか400頭、20頭の足元しかいない状態のためには、より多くの皆様のご参加にご協力が必要です。「ペディグリー チム」も一頭でも多くの盲導犬育成に協力して、さらなる発展を行なってまいります。

一頭あたりの育成費「盲導犬チャリティウォーク」に併せてご参加ください。

日 時：1995年4月29日(祝日・10時～16時)

東京会場：お台場サンプラザ 2階1期 大阪会場：UOJ記念会館

参加費：一人、500円(送料を含む、チャリティ参加は別途)にてご参加ください。

お問い合わせ先：ペディグリー チム盲導犬育成推進事務局

東京都港区赤坂1-10-1 TEL:03-3460-7611

FAX: ペディグリー チム盲導犬チャリティウォーク大阪事務局

神戸市中央区南港町1-10 TEL:078-2881111

※上記のキャンペーン内容については、必ずご確認ください。

「ペディグリー チム」
ペディグリー チム



デュエット
Duet

1995年4月発行 編集人 久堀三紀史 全国盲導犬施設連合会発行
〒151 東京都渋谷区西原1-30-7マイコア1F (財)日本盲導犬協会内
TEL:03-3460-4998 FAX:03-3460-4676

ともに生きる、ともに歩む。

ごあいさつ

この度の阪神大震災により被災された皆さまに対し、まずもって心よりお見舞い申し上げます。一刻も早く平常の暮らしに戻られますことをお祈り申し上げます。

日頃より盲導犬育成普及事業に深いご理解とご支援をいただきありがとうございます。

さて全国7つの盲導犬育成施設が加盟する「全国盲導犬施設連合会」が本年4月1日付で新たに発足いたしましたのでご案内申し上げます。新しい連合会は「ともに生きる、ともに歩む。」を共通理念とし、各加盟施設が横断的に活動を活性化して行けるような統一化を実現することで、盲導犬の普及を全国的に拡大し、視覚障害者福祉に各施設が一致して貢献していくことを活動の目的としています。今後皆さま方のご支援を得て、この連合会の公益法人化を目指す所存であります。

かつて旧国鉄への盲導犬乗車認可を求め、全国の盲導犬施設が全国盲導犬協会連合会を組織したことがありますが、この連合会は新しい連合会の発足を機会に発展的解消をすることになります。

昨年、全国盲導犬ユーザーによる「全日本盲導犬使用者の会」が発足したことはご存じのことと思いますが、一人ひとりが手をとりあって行くことは本当に素晴らしいと喜んでおります。また先般は、視覚障害者が盲導犬とともに航空機に乗りヨーロッパ旅行を体験するなど、以前では考えられなかったことが実現してきました。このような状況の中で私たち盲導犬育成普及に従事する者も各施設協力し合い、一層大きな力を発揮しなければならぬと考えております。

従来(財)日本盲導犬協会が行ってまいりました「盲導犬普及キャンペーン」は、新しい連合会がその発足記念事業とし、「全国盲導犬普及キャンペーン」として行うこととなります。何卒、皆さまのご理解を賜り情旧のご協力をいただけますようお願い申し上げます。

全国盲導犬施設連合会
会長 大関 幸一

盲導犬のいる街、やさしい街。



盲導犬とともに歩む人に出会ったことがあります。ドキドキしていましたが、さつさつと歩いていきました。たしか、盲導犬ユーザーは、歩くほどに、段差につまづいたり、歩道にぶつかったり、車輪にぶつかるとか、このように驚かされるものです。

例えば、大都会の人混みでも割りには迷途もかけず、道を曲げて歩いてしまったり、盲導犬とは、つまづいた視覚を補う信頼できる、ワンチャイアのような存在。

愛憎意味のないものも求めず、一生懸命ユーザーをフォローして歩いてくれます。

ユーザーには、パートナーにあふれる愛情を注ぎます。

そんな人と盲導犬が、一緒に歩いている街、街の人々とこころ自然に、コミュニケーションしている街に生活したいですね。

盲導犬のいる街なら、多分と、やさしい気持ちで歩かせますから。

全国盲導犬施設連合会、発足。

平成7年4月1日、
盲導犬普及拡大へ向けて始動。

盲導犬普及も社会のさまざまな二重刃のおおかげで、新しい局面を迎えることができた。心からお礼を申し上げます。過去4年に渡り(一社)日本盲導犬協会の上層で展開してきた盲導犬普及キャンペーンは、本会から「全国盲導犬施設連合会」の主導により「全国盲導犬普及キャンペーン」として展開することになりました。従来の成果をもつて、より大規模に、より大きな目標をもって展開していきます。

今年から新しくなつたキャンペーン、よろしくご協力ください。

今年のテーマは「盲導犬のいる街、やさしい街」。施設という意識の刷新をうけはらう。

誰もが一人ひとりの個性を認めあい豊かさを人間愛をもって生活できる街となつていけることを、という気持を込めて全国盲導犬施設連合会が「キャンペーン」をします。

全国盲導犬施設連合会について

いま日本には、国家公安委員会から指定を受けて活動している盲導犬施設は3つありますが、それぞれが別々に民間法人〇〇盲導犬協会、財団法人〇〇盲導犬センターなどの法人名をもっています。また社会福祉法人日本ホワイトハウスという名もありました。全国盲導犬施設連合会とは、これら全国8つの盲導犬施設の内、7つの盲導犬施設が加盟してスタートした協力組織です。

以前にも各地の施設が全国盲導犬協会連合会を組織したことがあります。JRFがま

受けて公認に寄与する活動をしている盲導犬施設施設は現在全国に8つのみです。全国盲導犬施設連合会には、その内7つの盲導犬施設施設が加盟しています。

加盟施設団体(一社)北海道盲導犬協会、(財)札幌盲導犬センター、(財)日本盲導犬協会、(財)中部盲導犬協会、(財)関西盲導犬協会、(社)日本ホワイトハウス、(財)福岡盲導犬協会の6つの財団法人と1つの社会福祉法人

国家公安委員会の指定を受けていない施設団体には相互監視的法的な行為を行っている団体(個人)がおりますのでご注意ください。

何をするために誕生したのか。

盲導犬施設の間には、盲導犬を育成、使用希望者への提供、盲導犬普及のための情報提供と社会的啓蒙、行政機関への働きかけ、盲導犬に関する調査・研究、盲導犬育成・エキスポーの養成、盲導犬事業の国際交流などさまざまなものがあります。全国盲導犬施設連合会には各地民間で相互に協

力を、それら多岐にわたる活動もあらに発展させようとする目的としています。



そこで全国盲導犬施設連合会は、まず法人化を目指し、確かな活動基盤を築き上げ、社会実用性が育たせるに努めてはなりません。盲導犬を育成するためには多額の経費を必要としますが、一頭の盲導犬が一人の視覚障害者の人生に与える喜びや生きがい、金銭には替えられない価値があります。キャンペーンによる普及まわりの募集・寄付金は、その活動基盤の確立につながる盲導犬普及のために使われていきます。

市民の手で支えられる、相互隣業者福祉。

全国盲導犬施設連合会の対象は以下によってまとめられます。



だ国旗の、盲導犬を導く。そのたびに申請が必要。計費が知照される。ので申請窓口を一本化したいという原因から、要請に答えてきたものだった。しかし業者が自由になった。活動は実態状態で、それが、より大きな目標、向かっていくための組織的解明をし、新たに「全国盲導犬施設連合会」を設立したのです。今後は、一日も早く8つの全施設が法人化を揃え、盲導犬普及を加速していき、社会福祉の発展に貢献していきけるようにと願っています。

盲導犬協会についても正しい知識を。

現在、国家公安委員会から正式に指定を

①加盟する各盲導犬施設からの年公費
②会費の大半は「ボランティア」を中心とした募りされている基金に寄せられる基金
③役員や会費の格差をまわりの寄附金
④扶助金共済からの年公費

全国盲導犬施設連合会が本格的に活動していくために、いま法人化を目指しています。そのためにも基金が必要となります。過去3年間に(一財)日本盲導犬協会の主催による盲導犬普及キャンペーンに賛同した寄せられた基金が現在の通り確認されています。

平成4年度 2,800万円
平成5年度 2,200万円
平成6年度 約2,000万円(定数)
合計 約7,000万円

規定図書若しくは新たな説明を述べ、もっとすぐれた社会を実現する活動づくりのために、ぜひあなたの二重刃を信頼いたします。



THE TOCHIGI GUIDE DOG CENTER

財団法人 栃木盲導犬センター

代表者/理事長：味田 基
事務局 / 〒321-03栃木県宇都宮市堀岡町1285
TEL.0286-52-3883
FAX.0286-52-1417
訓練所 / 〒321-03栃木県宇都宮市堀岡町1285
TEL.0286-52-3883
FAX.0286-52-1417



(財) 栃木盲導犬センターの正面玄関

栃木県にも盲導犬の育成施設と
いう視力障害者の願いにより、
昭和49年11月市民の有志の協力
を得て、財団法人栃木盲導犬セ
ンターが設立許可されました。
当盲導犬センターは、視力障
害者に対して、順の代わりとな
る盲導犬の育成、訓練ならびに
それにともなう視力障害者の多
行訓練を行っています。これに
より視力障害者の社会参加を促
進することにも、視力障害者の
福祉の向上に資することを目的
としています。

当盲導犬センターは、設立以
来栃木県内はもとより、江津各
県の視力障害者に130頭以上の盲
導犬を交付し、盲人福祉に貢献
しています。

沿革

昭和48年10月盲導犬センター
設立準備委員会
昭和49年11月財団法人栃木盲
導犬センター設立許可
昭和49年栃木県と盲導犬育成
委託契約を結ぶ
昭和54年茨城県と盲導犬育成



盲導犬訓練中の生徒達

委託契約を結ぶ
昭和55年3月視力障害者福祉工
事法（中央視覚社会福祉団体
補助）
昭和56年10月千葉県と盲導犬育
成委託契約を結ぶ
昭和58年福岡盲導犬協会と盲
導犬育成委託契約を結ぶ
福岡盲導犬協会の育成により、
福岡盲導犬訓練士の育成を始め
昭和59年大分盲導犬協会と盲
導犬育成委託契約を結ぶ
昭和59年おとしまっぴご郷社は
おまご交付配分金による大宮増
築工事完了
平成元年11月韓国大正盲導犬
育成視力障害者に盲導犬交付
平成二年国野盲導犬学校運営
正会員の認定を受ける
平成五年盲導犬公益増進法人の
認定を受ける



HOKKAIDO GUIDE DOGS FOR THE BLIND ASSOCIATION

財団法人 北海道盲導犬協会

代表者/会長：北澤 治
事務局 / 〒005 札幌市南区南30条西8丁目1-1
TEL.011-582-8222
FAX.011-582-7715
訓練所 / 〒005 札幌市南区南30条西8丁目1-1
TEL.011-582-8222
FAX.011-582-7715



協会本陣及び大倉庫

1977年札幌市福祉センター
に集う点訳訓練士の若きボラン
ティア達の情熱により、札幌盲
導犬協会として活動を開始し
ました。1983年からは札幌盲
導犬育成事業と共に中途視覚障
害者社会適応訓練事業も開始し、
視覚障害者の社会行動リハビリテ
ーション学校を行う施設として
成長を続けております。1988
年（北海道盲導犬協会）と名
称も変更し、同じ札幌市協会とあ
る東北三県及び新潟県の視覚障
害者にも無償で盲導犬を貸与
しております。盲導犬育成の基礎
は犬づくりにあると考え、適性
ある優秀犬の確保のため、計画
育種から仔犬の生後1週しついで
育種講習会を開催し愛情豊かに飼
育を行い、盲導犬の仕事にスト
レスを感じることなく喜んで運
行できるように訓練しております。
当施設の特徴としては、道路
の左右を自由に歩けるように特
別な訓練を実施していること、
積雪期間に犬の訓練を集中して
行い、障害者だけで安全に誘導す



盲導犬老犬ホーム（老犬ホーム）から訓練中
の犬たちに声を送る老犬たち

るよう訓練していることです。
また、盲導犬として施設を退い
た犬たちを飼育する「老犬ホ
ーム」を運営しています。老犬
達は専門飼育員の管理のもと最
後まで健康と幸せを過ごします。
当協会を主宰したユージー達は、
視覚障害者の社会参加促進のた
めの啓蒙活動など積極的に活動
しています。昨年は、1400k
mの困難なたすきりレールで多
数する行事などを開催し、今年も
記念誌を発行する予定です。盲
導犬育成と視覚障害者の社会参
加促進のための頑張っています。



CHUBU GUIDE DOGS BLIND ASSOCIATION

財団法人 中部盲導犬協会

代表者/会長：神作 博
事務所/〒455名古屋港区十一層1-70-4
TEL.052-382-6776
FAX.052-383-3149
盲導犬総合訓練センター/
〒455名古屋港区十一層1-70-4
TEL.052-382-6776
FAX.052-383-3149



盲導犬総合訓練センター

財団法人 中部盲導犬協会は、昭和45年9月5日に小さな民家を開校して盲導犬の訓練をスタートして、満25年を迎えます。

今日まで、盲導犬の育成、訓練士の養成、盲導犬に就する繁殖の研究、視覚障害者への盲導犬の無償貸与により視覚障害者の安全と社会参加の促進等並びに盲導犬の社会的地位の向上と社会の受け入れを願い、啓蒙運動を行い多くを理解を得ました。

昭和49年には、盲導犬総合訓練センターが完成し、ご支援をいただきました皆様は心から感謝しております。

また、「がんばる盲導犬クラブ」の里家本やナレビドナメで全国の人々の感動を呼び、ナキヤヌの名譽州犬に任命されるなど明るい話題は、盲導犬の啓蒙に大きな足跡を残しました。

しかし、総合的に盲導犬訓練事業の目的を達成するためには機器的資金を解決しなければなりませんので、次のご支援がいただければ幸いです。



盲導犬らじらちゃん募金箱
マスコットとして可愛がってね

会費会員1口3千円以上、特別会員1口3万円以上、ご寄付のご協力は、郵便振替、銀行振込、現金書留でお願ひします。

また、友の会(20ウンティアン)では、盲導犬基金箱の設置のご協力者を募集しております。ぜひ、人目につきやすい場所やカウンターに置いて下さい。今かあるなら盲導犬育成の一助です。詳しい事は当盲導犬協会にお気軽にお尋ね下さい。ご連絡を心からお待ちしております。

中部銀行 名古屋支店 口座 1555444
東海銀行 名古屋支店 口座 2113444
郵便振替 00809429987



JAPAN GUIDE DOG ASSOCIATION

財団法人 日本盲導犬協会

代表者/理事長：羽田 孜
事務所/〒151東京都渋谷区高円寺1-30-7マイコア1F
TEL.03-3480-8211
FAX.03-3460-6262
訓練所/〒253神奈川県茅ヶ崎市本村4-20-23
TEL.0467-54-0799
FAX.0467-54-0601



しつけ教室で訓練士の指導のもとに奮闘するパピーウォーカーさん

当協会は、昭和42年に厚生省の許可を受け、わが国初の盲導犬訓練施設として設立されました。現在は事務局長東京府法務次官に置き、訓練所は神奈川県茅ヶ崎市にありますが、手続にまつため、千代田橋の土地に新しい訓練施設の建設を計画しているところです。

当協会は盲導犬ユーザーのニーズの多様化に応え、本来は訓練士が合同形式で行う共同訓練をこの犬の自宅で実施したり(出張共同訓練)、共同訓練終了後1年間は盲導犬ユーザーのフォローアップを義務付けて行うなど、視覚障害者が盲導犬と安心して暮らせる環境作りにも努めています。そして当協会の卒業生の同窓会、えみの会が毎年行う研修旅行にはスタッフも参加し、ユーザーとの意見交換や盲導犬の健康チェックその他の様々な指導を行っています。また、優秀な盲導犬の基礎は仔犬の頃からというしつけと性格作りにあるという認識から、仔犬の基礎のパピー



盲導犬育成チャリティゴルフ大会では視覚障害者が晴眼者とともにプレーを楽しんでいます。

ウォーカーを対象に、毎月しつけ教室を開催しています。

その他、盲導犬の二種として、毎年「盲導犬育成チャリティゴルフ大会」を開催し、視覚障害者も晴眼者と一緒にプレーを楽しむことで、視覚障害者ゴルフウェアへの理解と支援を深めています。これからも視覚障害者も共に生活を築くことができる社会の実現に向けて努力して参ります。



NIPPON LIGHT HOUSE WELFARE CENTER FOR THE BLIND

社会福祉法人 **日本ライトハウス**

代表者/理事長：岩橋明子

本部 / 〒538大阪府豊後区今津中丁2丁目4番37号

TEL.06-961-5521 (代)

FAX.06-961-5208

訓練所 / 〒588大阪府河内郡千早赤松村東原222番11

TEL.0721-72-0914 (代)

FAX.0721-72-0916



大抵が一層である高台にあり、建物の回りには緑の木々と外周道路が囲っています。

社団法人日本ライトハウスは、視覚障害者の行く手を阻まず「夜の灯台」として、大正11年点字図書館事業に着手したことに始まり、点字出版事業などに及び直接訓練を行うハビリテーション事業から構成された総合施設です。盲導犬視覚障害者が安全に多歩する1つの方法として、視覚障害者ハビリエーションセンターで行っています。

当法人では、昭和45年オーストラリア盲導犬協会へ派遣員を留学させ、その後秋山基田退省区内に盲導犬訓練所を開設しました。以来、主として妻は長野県から西は山口県を中心として3の自治体や各種団体と盲導犬育成事業の契約を結び、盲導犬育成を行っています。現在までに200頭の盲導犬を育成し四月30日現在で完結中です。

平成7年1月、1頭でも多く盲導犬を育成するため大阪府下千早赤松村に7,200㎡の土

地を租税、大倉センターならびに生活訓練棟834㎡を持つ新訓練所に移転しました。今後も、定員1500名もの生活訓練部、職業訓練部、技術部など、指導者教育を行う養成部で蓄積したノウハウを盲導犬実行にも生かして、視覚障害者と社会を結ぶ施設として努力してゆきたいと考えています。ハビリエーションセンターを基盤としていますのでご協力をお願いいたします。



大倉は居室と普通大倉が独立した構造で、全館冷暖房が完備しています。



THE KANSAI GUIDE DOGS FOR THE BLIND ASSOCIATION

財団法人 **関西盲導犬協会**

代表者/会長：桑原秀雄

事務局 / 〒616京都市右京区常盤藤ノ上町2-6

TEL.075-881-4618

FAX.075-881-1224

訓練センター / 〒621京都府亀岡市藤原町大貝ヶ谷2912

TEL.0771-24-0329

FAX.0771-25-1054



Enjoy Walking (タンアムで歩行する)

関西盲導犬協会では、視覚障害者に「快適な歩行」を提供し、「質の高い生活、人生」を営んでもらうことが重要であると思慮しています。そのため、他のリハビリテーション施設と連携し事業を進めているほか、視覚障害者によっては、盲導犬と白杖、あるいは電子機器を使用するなど、総合的な観点から指導に当たっています。また、盲導犬育成の対象者も、全盲者だけでなく、弱視者なども含まれ、より広く全国で初めて、英語で1頭の盲導犬を飼育する「タンアム」という方法を開発しています。この方法は盲導犬を利用していない二人組は、すでにお馴染みになります。

また、訓練センターでは、毎年1回、秋に「エンジョイ・ウーキング・アム」という特別の日を設けています。盲導犬との体験歩行のほか、盲導犬利用者やリハビリテーションの専門家のサークル・スピーチ、他の

歩行補助具などの紹介も行い、「視覚障害者と歩行」に関する情報提供を積極的に行っています。なお、視覚障害者の方の盲導犬との体験歩行の申し込みは、随時受け付けています。

さらに、市民の方々にも、盲導犬のこと、視覚障害者のことを理解していただくために、毎月第3土曜日を見学日として実施しています。見学をご希望の方は、訓練センターまでお問い合わせください。



盲導犬協会訓練センター

「連合会の新しい募金箱スタート」

全国盲導犬基金



全国盲導犬施設連合会

スーパー・ホームセンターなどに設置していただいております盲導犬募金箱も新しく変わります。従来（財）日本盲導犬協会の主催で設置させていただいた募金箱は、全国盲導犬施設連合会の発足を機会に、連合会の募金箱として新しい顔になります。これからもご支援ご協力をお願いします。

平成7年度イベント予定

（全国盲導犬施設連合会 発会式）平成7年4月26日（水）

全国盲導犬施設連合会にとって第一歩となるビッグイベント。国際盲導犬学校連盟が提唱する「国際盲導犬の日」（毎年4月の第4曜日）に、連合会の意義・目的を広く理解してもらうために発会式を開催。英国盲導犬協会と、市民として盲導犬普及事業に参画している英国シーフォード地区がランティイ支部よりゲストを招待しての講演会も実施する予定です。

（'95全国盲導犬普及キャンペーン）平成7年4月1日～6月30日

「盲導犬のいる街、やさしい街」をテーマに、交通施設、飲食店などに盲導犬受け入れをお願いしていきます。また盲導犬育成のための基金づくりを呼びかけます。21世紀の視覚障害者福祉向上のスタートとするために意欲的に展開します。

（各地で盲導犬デモンストレーションを実施）

ポスターやステッカー、情報誌などを通して盲導犬普及を啓蒙するとともに、全国各地のスーパーや小学校などで盲導犬のデモンストレーションやセミナーを開催します。皆さんの街でも、お会いできることを楽しみにしています。

●お問い合わせは●

全国盲導犬施設連合会 事務局 〒151東京都渋谷区西原1-30-7マイコア1F
（財）日本盲導犬協会 内

TEL.03-3460-4998 FAX.03-3460-4676



FUKUOKA GUIDE DOG ASSOCIATION

財団法人 福岡盲導犬協会

代表者／理事長：緒方龍志

事務局／〒810福岡市中央区大手門2丁目5番15号
福岡市社会福祉会館内

TEL.092-714-3169

FAX.092-714-3169

訓練センター／〒819-11福岡県糟屋郡宇水町東283の1

TEL.092-324-3169

FAX.092-324-3169



訓練センター全景

- 沿革
昭和58年9月協会設立（財団法人）
昭和62年10月訓練センター建設
平成元年1月道路交通法に基づき
国家公安委員会指定
平成5年9月所轄増設、法人
税法に基づく特定公益増進法人
認定
- 盲導犬無償貸与実績
平成6年12月末日現在既済額
約平成7年3月末日までに5
頭増加予定
- 訓練施設
監視写真のとりまわりのしい
環境のもとに、管理棟、犬舎棟、
職員住宅2棟、職員寮などの建
物のほか、訓練用歩道橋及び歩
道の施設を設けています。なお
今後も引続き施設の拡充につと
めてまいります。
- 訓練スタッフ
現在人員33名、な約平成7年
4月に4名増員し、当年度最終
約10頭育成の態勢を確立いたし
ます。



訓練用歩道橋及び歩道

- 「1日も早く、1頭でも多く」
金九棟を例にとれば、1棟の
視覚障害者約3名に押し、其
他盲導犬頭数は僅か1頭の頭で
あります。当協会は、全国盲導
犬施設連合会加入の各施設と相
協力して、「1日も早く、1頭
でも多く」盲導犬を育成すべく
努力しています。

今年もタクシーにも、 盲導犬同伴可ステッカー。



当施設は盲導犬同伴でご利用いただけます。

昨年からのスーパーや商店、畜産施設などに貼られている盲導犬同伴可ステッカーとポスター。今年も、タクシー用に作ったステッカーも登場します。



タクシーも盲導犬受け入れの意思表示。
平成3年に行われた盲導犬ユーザーに対する調査で、5割以上がタクシー利用を断られた経験があるとわかりました。別の調査でタクシー乗員（大阪地域1708名）から得た回答では、盲導犬ユーザーを受け入れるという声が多くあり、受け入れてくださるタクシーに出会えないために乗車拒否が起きているのだと思います。そこで

タクシー用の「盲導犬同伴可ステッカー」を作成。無料（送料のみご負担願います）でご提供することにしました。タクシー関係の皆さん、お気軽にお申し込みください。

お願いします、
ちよつとひと裏。

盲導犬同伴で利用できる施設が増えるとともに、ステッカー掲示の有無を教えにくくなる皆さんとのふれあいも増え、盲導犬ユーザーも関係者もとても喜んでいきます。各地に盲導犬同伴可ステッカーとポスターが、やさしさのトレードマークとして広がってきています。まもなく盲導犬同伴可を表示したタクシーも街を走りはじめます。どうかお店やさまざまな施設と同じようにひと言をお願いいたします。

「基金づくりにご協力をお願いします。」

全国盲導犬施設連合会は全国の盲導犬育成施設の慢性的な資金不足を少しでも解消するために、盲導犬育成のための基金づくりに進めています。視覚障害者の積極的な社会参加の一助となるために、主旨をご理解いただき、基金づくりにご協力をお願いいたします。

●全国各地のお店に設置される募金箱への募金。

●郵便振替による寄付。

はさみ込みの郵便振替払込票にてお願い申し上げます。

口座番号 00180-3-411694 全国盲導犬施設連合会

●銀行振込による寄付。

振込先 第一勧業銀行新宿支店 口座番号(普) 2115371

全国盲導犬施設連合会

がんばって!「全日本盲導犬使用者の会」、発足。

盲導犬使用者たちが交流し、悩みを話し合ったり、自らのマナー向上を目指すために、全国の盲導犬使用者が自分たちの力で作り上げた会です。どうか、皆さんも応援してください。



(会長：清水和行／事務局長：池ヶ谷勝美 TEL.0463-23-6396)

ご注意ください。「福祉乗車法」

盲導犬普及活動やチャリティを営む商業施設など、盲導犬の名前を商標に利用している個人や団体(?)があります。例えば盲導犬普及ボランティアグループ・日本盲導犬普及会(代表世話人 船尾 誠)・ガイドドッグアカデミー・盲導犬研究会など盲導犬協会とまぎらわしい名称を使った団体(?)です。また、「盲導犬の育成のために。」という言葉を若い若い人達が印刷用品(フキ)などを印刷販売する活動が、岐阜方面で確認されています。全国8つの各盲導犬育成施設は一切関係ありません。どうぞご注意ください。